

2026年8月6日



2027年3月期第1四半期

決算補足説明資料

カメイ株式会社

東証プライム 8037



■ エネルギーセグメントが好調に推移し、業績予想を上方修正（P.10～P.11にて詳述）

(単位：百万円)	上 期		
	2026年3月期 実 績	2027年3月期 期初予想 (5月発表)	2027年3月期 修正予想
売上高	268,309	278,200	283,130
営業利益	7,111	7,180	9,520
経常利益	7,681	7,880	10,410
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,746	4,780	6,480



通 期		
2026年3月期 実 績	2027年3月期 期初予想 (5月発表)	2027年3月期 修正予想
583,078	615,000	624,910
16,975	15,700	17,890
18,655	17,500	19,570
11,900	11,000	12,050

01 2027年3月期 第1四半期実績

KAMEI





売上高 : 150,621百万円 (前年同期比 +6.7%) 修正予想進捗率：上期 53.2%、通期 24.1%
営業利益 : 6,059百万円 (前年同期比 +50.6%) 修正予想進捗率：上期 63.6%、通期 33.9%

■ 事業動向

売上高：主にエネルギーの販売単価上昇により、過去最高売上高を更新

営業利益：エネルギーが石油・ガス販売共に増益となり、過去最高益を更新
エネルギー以外のセグメントは、前年同期比で減益

■ トピックス

【増配】業績予想の修正に伴い、期初予想から増配
(中間配当、期末配当ともに65円⇒68円 年間130円⇒136円、 P.14参照)

【株主優待】株主優待における継続保有条件を緩和 (P.17参照)



■ 売上高150,621百万円（前年同期比＋6.7%）、営業利益6,059百万円（前年同期比＋50.6%）

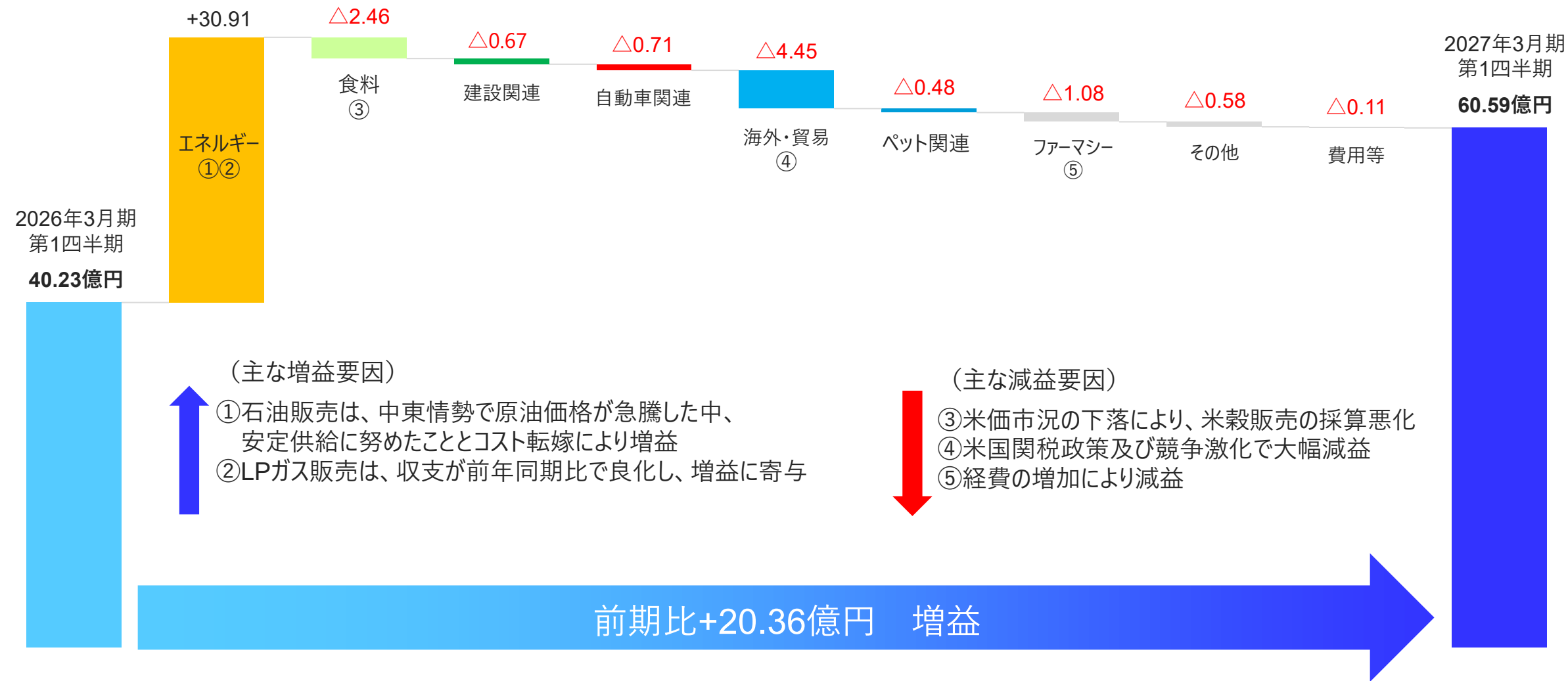
■ 利益率が大幅に上昇（営業利益率2.8%⇒4.0%、経常利益率3.2%⇒4.4%）

(単位：百万円)	2026年3月期		2027年3月期		前年同期比		修正予想に対する進捗率			
	第1四半期実績	対売上比率	第1四半期実績	対売上比率			上期修正予想	進捗率	通期修正予想	進捗率
売上高	141,162	－	150,621	－	+9,459	+6.7%	283,130	53.2%	624,910	24.1%
売上総利益	24,075	17.1%	27,210	18.1%	+3,135	+13.0%	－	－	－	－
販売費及び一般管理費	20,052	14.2%	21,151	14.0%	+1,099	+5.5%	－	－	－	－
営業利益	4,023	2.8%	6,059	4.0%	+2,036	+50.6%	9,520	63.6%	17,890	33.9%
経常利益	4,468	3.2%	6,664	4.4%	+2,196	+49.1%	10,410	64.0%	19,570	34.1%
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	2,935	2.1%	4,573	3.0%	+1,638	+55.8%	6,480	70.6%	12,050	38.0%



■ エネルギーセグメントが大幅増益。エネルギー以外のセグメントの減益分をカバーし、最高益更新

（単位：億円）



2027年3月期第1四半期 各報告セグメントの動向：第1四半期としては過去最高



単位：百万円		2026年3月期 第1四半期 実績	2027年3月期 第1四半期 実績	前年同期比		通期 修正予想	進捗率	要因（コメント）
合計	売上高	141,162	150,621	+ 9,459	+ 6.7%	624,910	24.1%	主にエネルギーの販売単価上昇により、過去最高更新 エネルギーが大きく増益となり、過去最高益を更新
	営業利益	4,023	6,059	+ 2,036	+ 50.6%	17,890	33.9%	
エネルギー	売上高	64,303	72,769	+ 8,466	+ 13.2%	307,400	23.7%	中東情勢で原油価格が急騰した中、安定供給に努めた こととコスト転嫁により、石油・ガス共に増益
	セグメント利益**	1,011	4,102	+ 3,091	+ 305.6%	—	—	
食料	売上高	9,988	9,588	△400	△4.0%	39,300	24.4%	米価市況の下落により、米穀販売の採算が悪化 他の事業でカバーしきれず
	セグメント利益**	172	△74	△246	—	—	—	
建設関連	売上高	12,148	10,344	△1,804	△14.9%	56,600	18.3%	総利益率は改善傾向だが、工事物件の完工が 前同比で減少し、減収減益
	セグメント利益**	297	230	△67	△22.3%	—	—	
自動車関連	売上高	20,683	22,270	+ 1,587	+ 7.7%	81,900	27.2%	新車販売・レンタカー共に好調を維持するが、 経費増により、営業利益は前年には届かず
	セグメント利益**	1,541	1,470	△71	△4.6%	—	—	
海外・貿易	売上高	22,470	24,073	+ 1,603	+ 7.1%	94,900	25.4%	インフレと円安効果で売上高は伸長 米国関税政策及び競争激化により大幅減益
	セグメント利益**	1,367	922	△445	△32.6%	—	—	
ペット関連	売上高	4,354	4,555	+ 201	+ 4.6%	15,200	30.0%	売上高は前年を上回るも、経費増により減益
	セグメント利益**	131	83	△48	△35.9%	—	—	
ファーマシー	売上高	4,935	4,825	△110	△2.2%	19,600	24.6%	不採算店舗の整理により、前同比減収 経費の増加により減益
	セグメント利益**	△38	△146	△108	—	—	—	
その他*	売上高	2,278	2,194	△84	△3.7%	10,000	21.9%	運送業の経費増などにより、前同比で減益
	セグメント利益**	335	277	△58	△17.4%	—	—	
全社費用		△796	△807	△11	—	—	—	ほぼ前年並み

* 情報機器の販売、運送業、不動産賃貸業 等 **セグメント利益又は損失は調整額控除前

貸借対照表：総資産は前期末比で減少 自己資本比率は50%台で推移



- エネルギー事業の売掛金の回収などにより、売上債権は前期末から減少
- 現金及び預金は売掛金の回収により増加
- 有利子負債は返済が進み減少

資産の部

(単位：百万円)	2026年3月末	2026年6月末	前期末増減
流動資産	188,244	184,724	△3,520
現金及び預金	68,571	76,354	+7,783
受取手形、売掛金 及び契約資産	70,286	61,840	△8,446
商品及び製品	33,360	31,981	△1,379
固定資産	142,816	144,518	+1,702
有形固定資産	106,227	107,275	+1,048
無形固定資産	4,870	4,688	△182
投資その他の資産	31,717	32,554	+837
資産合計	331,061	329,243	△1,818

負債・純資産の部

(単位：百万円)	2026年3月末	2026年6月末	前期末増減
流動負債	116,310	111,470	△4,840
支払手形及び買掛金	54,741	51,663	△3,078
短期借入金	32,611	27,997	△4,614
固定負債	36,402	35,813	△589
長期借入金	4,384	4,274	△110
純資産	178,348	181,959	+3,611
株主資本	152,809	157,780	+4,971
その他の包括利益累計額	20,736	22,213	+1,477
負債純資産合計	331,061	329,243	△1,818

02 2027年3月期 業績見通し

KAMEI





- エネルギーの増益見通しに伴い、上方修正
- 売上高・営業利益・経常利益・中間純利益のいずれも、過去最高を更新する見込み

(単位：百万円)	2026年3月期		2027年3月期		2027年3月期		前年同期比		期初予想比	
	実績	対売上比率	期初予想	対売上比率	修正予想	対売上比率				
売上高	268,309	—	278,200	—	283,130	—	+14,821	+5.5%	+4,930	+1.8%
営業利益	7,111	2.7%	7,180	2.6%	9,520	3.4%	+2,409	+33.9%	+2,340	+32.6%
経常利益	7,681	2.9%	7,880	2.8%	10,410	3.7%	+2,729	+35.5%	+2,530	+32.1%
親会社株主に 帰属する 中間純利益	4,746	1.8%	4,780	1.7%	6,480	2.3%	+1,734	+36.5%	+1,700	+35.6%



- 上方修正により、売上高・営業利益・経常利益・当期純利益のいずれも、過去最高を更新する見込み
- 売上高は初の6,000億円台、当期純利益は初の120億円台を見込む

(単位：百万円)	2026年3月期		2027年3月期		2027年3月期		前年同期比		期初予想比	
	実績	対売上比率	期初予想	対売上比率	修正予想	対売上比率				
売上高	583,078	—	615,000	—	624,910	—	+41,832	+7.2%	+9,910	+1.6%
営業利益	16,975	2.9%	15,700	2.6%	17,890	2.9%	+915	+5.4%	+2,190	+13.9%
経常利益	18,655	3.2%	17,500	2.8%	19,570	3.1%	+915	+4.9%	+2,070	+11.8%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	11,900	2.0%	11,000	1.8%	12,050	1.9%	+150	+1.3%	+1,050	+9.5%



(単位：百万円)	2026年3月期 実 績	2027年3月期 期初予想	前年同期比	2027年3月期	前年同期比	期初予想比	要因
				修正予想			
エネルギー	279,608	299,500	+ 7.1%	307,400	+9.9%	+2.6%	販売数量は構造的要因により減少も、原油価格高騰により販売単価が上昇し、増収見込み。燃料油への補助金は継続する前提
食料	39,141	38,600	△1.4%	39,300	+0.4%	+1.8%	コスト上昇分の価格転嫁が進む一方、米穀類の価格下落と販売数量伸び悩みにより、前期並みの見通し
建設関連	48,376	56,000	+ 15.8%	56,600	+17.0%	+1.1%	2 Q以降は工事売上高増加により、増収トレンドへ回帰
自動車関連	80,258	83,600	+ 4.2%	81,900	+2.0%	△2.0%	新車販売は堅調見込みだが、イラン情勢の影響を注視 レンタカー事業は、レジャー需要等により好調見込み
海外・貿易	91,164	92,500	+ 1.5%	94,900	+4.1%	+2.6%	円安基調で為替の影響は好転する一方、 米国関税政策の業績への影響が継続
ペット関連	14,475	14,800	+ 2.2%	15,200	+5.0%	+2.7%	販売単価の改定により、売上高は堅調の見通し
ファーマシー	20,395	20,000	△1.9%	19,600	△3.9%	△2.0%	事業の筋肉質化（不採算店舗の整理）により、処方箋 応需枚数が減少見込み
その他＊	9,658	10,000	+ 3.5%	10,000	+3.5%	±0.0%	大きな減収要因は無し

＊ 情報機器の販売、運送業、不動産賃貸業 等

■ 報告セグメント利益の見通し：期初予想から上方修正も、セグメントごとに評価はまちまち

報告セグメント	評価とコメント	報告セグメント	評価とコメント
エネルギー	 好調の1Qから徐々に減速する見通し	海外・貿易	 米国関税政策とインフレ等により収益性低下
食料	 2Qも米穀市況低迷は継続	ペット関連	 経費増による減益見通し
建設関連	 受注高回復により増益トレンドへ	ファーマシー	 収益力改善に向け、事業構造改革を継続
自動車関連	 新車販売とレンタカー共に好調維持	その他	 各事業とも堅調見通し

■ 為替の前提条件 1ドル＝160円（前期は 1ドル＝150円）

＊ 期初見通し：1ドル＝155円から見直し

■ 原油価格の前提条件 ドバイ原油＝100ドル／bbl（前期は 72ドル／bbl）

＊ 期初見通しから変更なし

■ 配当額：年間 136円（中間 68円＋期末 68円）（予定）

＊ 期初見通し：年間 130円（中間 65円＋期末 65円）から増配

■ ①「累進配当」、②「配当性向を段階的に40%目安へ引き上げ」の方針は変更なし

■ 2027年3月期：年間130円⇒**136円**（中間配当、期末配当ともに65円⇒**68円**）へ期初予想から**6円増配**の予定（12期連続増配の見込み）

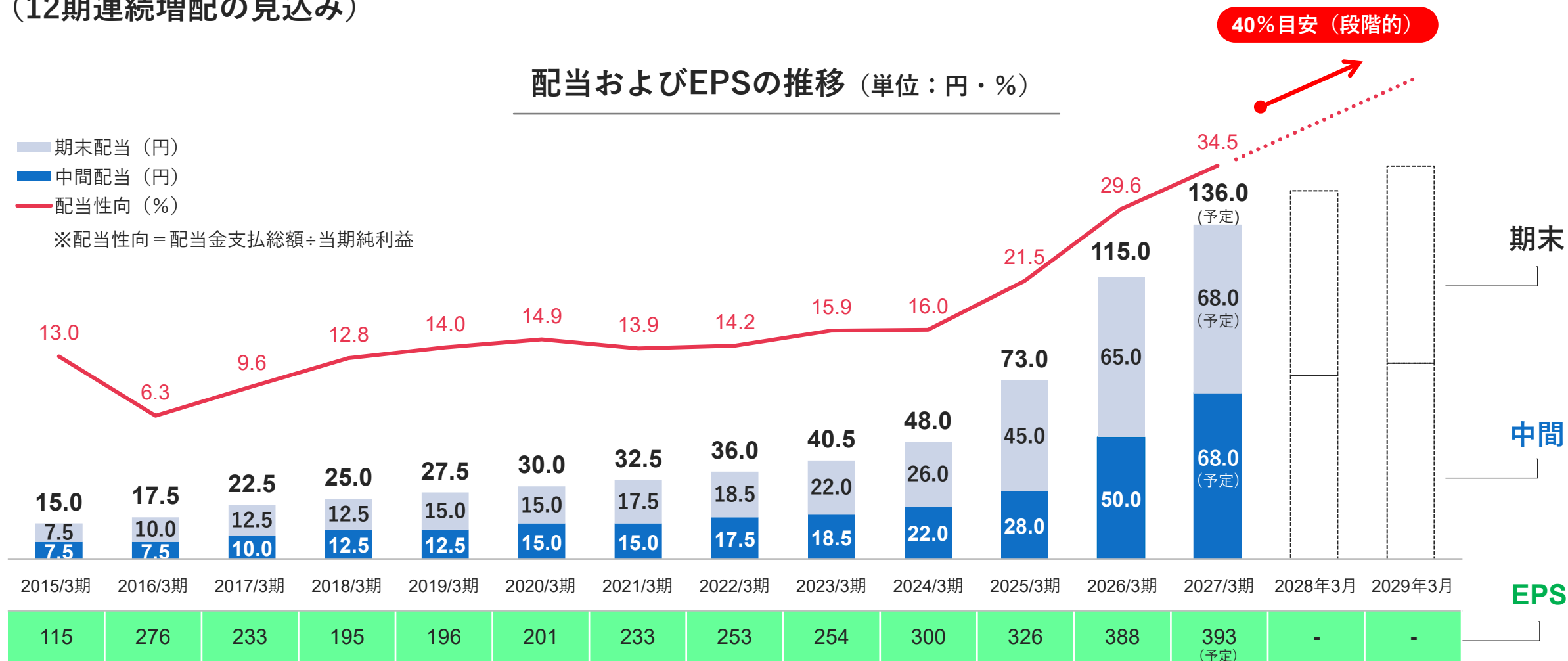
配当およびEPSの推移（単位：円・%）

■ 期末配当（円）

■ 中間配当（円）

■ 配当性向（%）

※配当性向 = 配当金支払総額 ÷ 当期純利益



03 2027年3月期
第1四半期
最新トピックス

KAMEI



■ より多くの皆様に当社株式を保有いただく機会を提供するため、**株主優待の継続保有条件を今回に限り緩和**

・ 変更の内容

2027年3月31日を基準日とする株主優待（※）につき、
2026年9月30日及び2027年3月31日において、100株以上の保有が
株主名簿に記載又は記録された株主様を対象とする

・ 株主優待の内容（変更なし）

保有株式数に応じ当社オリジナルQUOカード or カタログギフト進呈
（カタログギフトは宮城県の特産品や寄付等から選択）

保有株式数	優待品
100株以上 300株未満	500円相当分 QUOカード
300株以上 500株未満	3,000円相当分 カタログギフト or QUOカード
500株以上 1,000株未満	5,000円相当分 カタログギフト or QUOカード
1,000株以上	10,000円相当分 カタログギフト or QUOカード

（※）2028年3月31日を基準日とする株主優待より、従来どおりの継続保有条件とする。

【宮城県産品を中心とした地元特産品】

（写真はイメージです）



原則



継続保有期間条件：
1年間

前年3月末（株主名簿基準日）から本年3月末（株主名簿基準日）まで、
100株以上継続保有された株主

2026年3月27日までに
保有している

100株以上を継続保有

2027年3月29日まで
継続保有

株主名簿に記載または記録



株主優待の
対象

今回に限り (特例)



継続保有期間条件：
半年

今回に限り、特例として
2026年9月28日から2027年3月29日まで、
100株以上継続保有された株主も対象とします。

2026年9月28日までに
保有している

100株以上を継続保有

2027年3月29日まで
継続保有

株主名簿に記載または記録



株主優待の
対象



- ・各基準日時点の株主名簿に、同一株主番号で100株以上の保有が連続して記載または記録されていることが条件となります。
- ・株式の売却（100株未満となる場合を含む）や、名義変更等により、同一株主番号での継続保有が確認できない場合は対象外となります。

本資料にて開示されているデータや将来予測は、本資料の発表日現在の判断や入手可能な情報に基づくもので、既知及び未知のリスクや不確実性及びその他の要素を内包しており、これらの目標や予想の達成及び将来の業績を保証するものではありません。

また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。
従いまして、本情報及び資料の利用は、他の方法により入手された情報とも照合確認し、利用者の判断によって行って下さいますようお願いいたします。

本資料利用の結果生じた、いかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。



カメイ株式会社

2026年8月

東証プライム

8037

